

目次

第28回研究発表大会のお知らせ	1p
代議員(社員)総会・理事会報告	3p
委員会報告	4p
正味財産増減計算書	5p

収支予算書(収支)	6p
分科会報告	7p
学会後援行事等のお知らせ	7p
学会からのお知らせ	7p

第28回研究発表大会のお知らせ

第28回地理情報システム学会研究発表大会は、10月19日(土)・20日(日)に、徳島大学(常三島キャンパス)にて開催いたします。本年度も、通常の研究発表(講演発表、ポスター発表)に加え、多彩な企画セッション(シンポジウム、ワークショップ、ハンズオンセッション、チュートリアルセッション、GIS技術紹介セッション)などのプログラムを予定しております。奮ってお申し込み下さい。

申込スケジュール

企画セッションの申込期限

7月15日(月)正午

研究発表(講演・ポスター)の申込期間

7月1日(月)～7月15日(月)正午

講演論文集用原稿PDFのアップロード期間

7月1日(月)～8月31日(土)正午

機器展示および業界説明コーナーの申込期限

8月15日(木)まで

参加費

学術大会(講演論文集のCD-ROM代金を含む)

正会員/賛助会員枠の参加者:

事前登録4,000円(当日受付6,000円)

学生会員: 事前登録3,000円(当日受付4,000円)

非会員(一般および大学生以上):

事前登録7,000円(当日受付8,000円)

高校生以下、70歳以上:

無料(必ず年齢を証明するものをご呈示下さい)

懇親会

会場: 生協食堂 Dining キララ

(常三島キャンパス メイン食堂)

正会員/賛助会員枠の参加者:

事前登録5,000円(当日受付6,000円)

学生会員: 事前登録4,000円(当日受付6,000円)

非会員: 事前登録6,000円(当日受付7,000円)

・事前登録、当日受付とも、「学術大会参加費」「懇親会参加費」等項目別の領収書を発行いたします。

事前登録

受付期間: 9月25日(水)まで

大会Webページのリンクから、事前登録申込フォームに必要事項をご登録の上、代金をお振り込みください。

※期日までに入金が確認されない場合、事前受付はキャンセルとなります。

託児室の設置

大会開催期間中、キャンパス内に小さいお子様(3ヶ月～小学校低学年位)を預けることができるスペースを用意し、依頼したベビーシッター(実績ある会社から派遣)に世話をさせていただきます。

費用はお預かりするお子様の年齢や人数によって変わりますので、詳細については事務局にお問い合わせください。また、オムツ等消耗品諸経費を利用者にご負担いただきます。

ご利用を希望の方は、8月30日(金)までに事務局までご連絡ください。なお、希望者が5名に満たない場合は、託児室は設置されませんので、あらかじめご了承ください。

1. 企画セッション

シンポジウム、ワークショップ、ハンズオンセッション、チュートリアルセッション、GIS技術紹介セッションなど、特に形式は問いません。1セッション[1時間40分]を単位とし、複数セッションにまたがることも可能です。また、今回から、大会前日金曜日の午後にも、時間を設けております。

セッション企画は、個人会員・賛助会員の方々からご提案いただけます。特に各分科会の方々は、日常の研究成果を発表す

るまたとない機会ですので、積極的なご参加をお願いいたします。

■ 企画セッション申込

受付期間：7月15日(月)まで

申込先：井上大会実行委員長宛 (rinoue@tohoku.ac.jp)

申込要領：下記の情報をメールでお知らせください。

1. セッション企画名
2. 種類（シンポジウム、ワークショップ、ハンズオンセッションなど）
3. 代表者の氏名、所属、メールアドレス
4. 概要（400字程度）
5. 必要セッション数
6. 必要機材（PCなど）
7. 想定出席者数

セッション企画の発表可否は、7月31日（水）までにメールでご連絡致します。なお、会場設備などにより、ご希望に添えない場合がございますので、予めご了承下さい。

2. 研究発表

講演発表とポスター発表があります。投稿された論文ファイルは、講演論文集（CD-ROM）に収録し、大会の1年後に学会Webで公開します。

講演発表：論文提出が必要です。論文は、地理情報システムに関する理論研究・応用研究の成果で、原則として未発表のものに限ります。また、独創性・完結性がないものの発表は認めません。

ポスター発表：研究形成段階の討論や調査・活動報告などでも結構です。自由で活発な情報交換の場としてご活用下さい。論文の提出は必須ではありませんが、提出された原稿は講演論文集に収録されます。

講演発表・ポスター発表共に、商業宣伝的な内容は認めません。機器展示や企画セッションにお申し込み下さい。

なお、2015年度より、講演発表・ポスター発表の発表者（第一著者）に、測量系CPD学習プログラムのポイントが付与されます。大会で発表した場合、(1)「GIS上級技術者」への申請や、(2)「測量系CPD学習プログラム」への登録が可能です。希望者は大会当日、受付までお申し出下さい。

■ 応募資格

- (1) どなたでも発表できます。ただし、発表者または共同研究者（連名者）のうち、少なくとも1名は学会の個人会員（正会員または学生会員）でなければなりません。また、賛助会員は、1口につき個人会員1名分の発表資格を有するものとみなします。
- (2) 発表者となるのは、賛助会員枠を含めても1名につき1題に限ります。ただし、以下の場合は、発表の重複が認められます。

- ・複数の発表について共同研究者（連名者）となること。

- ・同一題目で講演発表とポスター発表を行うこと。
- ・通常セッションと特別セッションの両方で発表を行うこと。

(3) 大会発表会場で指定日時に発表できること。発表日時の指定は受け付けません。また、会場の都合により発表総数を制限する場合があります。

(4) 会員は、2019年度までの年会費完納者であること。

■ 発表申し込み手続き

(1) アブストラクトの提出

受付期間：7月1日（月）～15日（月）正午（必着）

EasyChair (<https://easychair.org/conferences/?conf=gisa2019>) で、GISA2019を選んで申込を行って下さい。

※ EasyChair の利用方法は、大会 Web ページの説明書をご覧下さい。

※ 記入された氏名・論題が、大会 Web ページのプログラムと CD-ROM に掲載されます。受付期間終了後の修正は一切受け付けませんので、予めご了承下さい。

発表の可否は、7月31日（水）までに学会 Web ページに掲載されるプログラム（予定）にてご確認下さい。個別のご連絡は行いませんのでご注意下さい。

(2) 講演論文集用原稿の提出

受付期間：7月1日（月）～8月31日（土）正午（必着）

※ PDF 形式の発表論文原稿を EasyChair にアップロードして下さい。

※ 作成要領は、大会 Web ページ掲載のテンプレートファイルをご活用下さい。

・受付期間外に提出された原稿は一切受け付けられません。発表を取り消させて頂きますので、予めご了承下さい。

- ・使用言語は日本語または英語とします。
- ・原稿の仕上がりサイズは A4 版 4 枚とします。
- ・発表者に連絡がつきにくい可能性がある場合は、申込の際に確実な連絡先も明記して下さい。原稿の不備等で連絡を差し上げる場合があります。
- ・発表原稿の編集・出版の権利は、地理情報システム学会に帰属します。

3. International Association of Geo-informatics (IAG' i)

大会 1 日目（予定）に、International Association of Geo-informatics (IAG' i) の国際シンポジウムを開催します。

応募要領は「研究発表」と同じですが、論文および発表は英語に限ります。また、発表者が他のセッションの発表者と重複しても構いません。EasyChair で、IAG' i を選んで申込

を行って下さい。

国内開催の貴重な国際シンポジウムの場として、この機会に積極的に海外の研究者との交流をお持ち下さい。

4. 第15回大会優秀発表賞

学生会員の発表レベル向上を図るため、本年度も「大会優秀発表賞」を設けます。以下の条件を満たす方が対象となります。

- ・ 本学会の学生会員であること。(2019年7月15日までに事務局に入会届が到着した方を含みます。ただし、2019年度までの年会費完納者)
- ・ 修士号未修得であること。
- ・ 講演の発表者であること。

研究（論文）内容や発表技術の優秀者からセッション司会者が受賞候補者を推薦し、学会賞委員会の中に設置される大会発表賞小委員会の議論を経て受賞者を決定します。受賞者数は特に定めません。

受賞者には賞状を後日送付し、GISA ニューズレター112号に氏名と所属を公表します。

また、『GIS-理論と応用』Vol.27-No.2 に発表要旨を掲載（モノクロ印刷のみ）します。受賞者は11月15日（金）までにA4用紙1枚の原稿提出にご協力下さい。

5. 第8回ポスターセッション賞

ポスターセッションでの議論の活性化を図るため、本年度も「ポスターセッション賞」を設けます。ポスターセッション参加者全員が審査の対象です。審査方法は、郵送（事前登録）・受付（当日受付）でお渡しする審査用紙をご覧下さい。

受賞者には賞状を後日送付し、GISA ニューズレター112号に氏名と所属を公表します。

また、『GIS-理論と応用』Vol.27-No.2 に発表要旨を掲載（モノクロ印刷のみ）します。受賞者は11月15日（金）までにA4用紙1枚の原稿提出にご協力下さい。

6. 機器展示および業界説明コーナー

機器展示: PC、または、android/iOS タブレット上で稼動する GIS のデモソフトの展示。

業界説明コーナー: 学生に会社の業務内容を説明し、仕事内容を理解してもらうための意見交換の場としてご利用ください。

■ 展示申込

受付期間: 7月1日（月）～8月15日（木）

※8月1日（木）までの受付分は、展示概要を GISA ニューズレター111号に掲載します。

（以降の受付も、会場配布パンフレット、及び、大会 Web ページには掲載します）

応募資格: 学会賛助会員に限ります。出展費用は無料です。

応募要領: 以下を明記の上、E-mail にて事務局宛にお申し込み下さい。

①会社名 ②担当者名 ③連絡先電話番号、E-mail ④展示ソフト名称（業界説明コーナー出展の場合は不要） ⑤展示概要（200字程度。ニュースレターや会場配布のパンフレット及び大会 Web ページに掲載します） ⑥必要電源の個数
出展可否の連絡: 9月20日（金）までに展示要項と共に E-mail で通知します。

※会場の都合により、各日の展示件数、及び、1社当たりの機器構成（電気容量）について、事務局が調整することがあります。

※業界説明コーナーは、パンフレット設置等のスペースがあれば、大会直前のお申込みでも受け付けています。事務局までご相談ください。

代議員（社員）総会・理事会報告

■ 一般社団法人地理情報システム学会

第64回理事会議事録 [理事 山本 佳世子]

開催日時: 2019年5月11日 13時30分～15時20分

開催場所: 東京大学工学部14号館144教室

理事10名全員が出席し、定足数を満たして成立した。

議決事項:

第1号議案 2018年度事業報告について

小口会長から、配布資料にもとづき、2018年度の事業報告が行われ、承認した。

第2号議案 2018年度決算と会計監査について

大場財務担当理事から、配布資料にもとづき、2018年度の決算と会計監査について説明があり、引き続き玉川監事から監査報告がなされ、承認した。

第3号議案 2019年度事業計画について

小口会長から、配布資料にもとづき、2019年度の事業計画について説明があり、一部修正・変更したうえで、承認した。

第4号議案 2019年度予算について

財務担当大場理事から、配布資料にもとづき、2019年度の予算について説明があり、承認した。

報告事項: 職務執行状況について（一部議決を含む）

・財務担当大場理事から資料にもとづき説明があった。

・広報担当大場理事から資料にもとづき説明があった。

・大会実行委員会担当大佛副会長から、資料にもとづき、今年度の学術研究発表大会（徳島大学）について説明があった。

また、来年度の大会会場は、今年度の学術研究発表大会までに決定することとした。

・編集担当奥貫理事から、資料にもとづき、審査手続き中の論文等について説明があった。

また、学協会の著作権に関する規程の調査結果、本学会の現行の規定の問題点について報告され、継続審議することとした。

・GIS 資格認定担当大伴理事から、GIS 名誉上級技術者として5名を資格認定し、今年7月に度東京で開催される

第 29 回国際地図学会議 (ICC2019) において贈呈式を開催することについて説明があった。

- 企画担当小荒井理事から、今年度の G 空間 EXPO の開催について説明があった。

その他：

- ICC2019 への寄附について

小口会長から説明があり、寄附が了承された。金額については、本学会の財政状況と他学会の状況を考慮し、3 役で決定することとした。

- 日本地球惑星科学連合 2019 年大会の「学協会インフォメーションコーナー」について

小口会長から説明があり、例年どおり設置することが了承された。

- 個人情報の扱いについて

学術研究発表大会講演集論文、学会誌とともに、記載した個人情報はすべて公開される旨の注意を著者に喚起することとした。

■ 一般社団法人地理情報システム学会 第 14 回社員総会議事録 [理事 山本 佳世子]

開催日時：2019 年 5 月 11 日 15 時 30 分～15 時 50 分

開催場所：東京大学工学部 14 号館 144 教室

本年度の社員総数 40 名のうち 24 名が出席し、10 名が議決権書面を提出したことから、本総会は定足数を満たして成立した。

審議事項：

第 1 号議案 2018 年度事業報告について

小口会長から配布資料にもとづき説明があり、満場一致でこれを承認した。

第 2 号議案 2018 年度決算と会計監査について

大場財務担当理事から配布資料にもとづき説明があり、引き続き玉川監事から監査報告がなされた。満場一致でこれを承認した。

牧野代議員から、寄附金の経緯について説明があった。

報告事項：

報告 1 2019 年度事業計画について

小口会長から配布資料にもとづき報告された。

企画委員の和田代議員から、今年度の G 空間 EXPO の準備状況、国土交通省国土情報課との会合の予定が報告された。

報告 2 2019 年度予算について

大場財務担当理事から配布資料にもとづき報告された。

報告 3 新しい名誉会員について

小口会長から、配布資料にもとづき、岡部篤行会員※1、山村悦夫会員※2 の 2 名を名誉会員とすることが報告された。

その他：

- 若手会員分科会の代表の相代議員から、学術研究発表大会の若手会員分科会の学生セッションについて紹介さ

れた。

- 学会賞委員の阪田代議員から、実践部門の学会賞の応募を今年度から開始したことが紹介され、各部門の学会賞の周知について依頼があった。

(敬称略)

※1 岡部篤行

東京大学名誉教授、1998 年 4 月 1 日～2000 年 3 月 31 日 地理情報システム学会会長

※2 山村悦夫

北海道大学名誉教授、2004 年 4 月 1 日～2006 年 3 月 31 日 地理情報システム学会会長



第 14 回社員総会

委員会報告

■ GIS 資格認定協会

[大伴 真吾]

GIS 資格認定協会では、GIS の活用・普及の推進に優れた功績を有し、長年 GIS 分野に貢献された方に GIS 名誉上級技術者の称号をお贈りしております。昨年度、関連学協会から推薦をいただき、GIS 資格認定協会審査委員会にて審議した結果、次の 5 名の方に GIS 名誉上級技術者称号を贈呈させていただきました。

若林 芳樹 氏 (日本地理学会推薦)

熊木 洋太 氏 (日本地図学会推薦)

ベンカテッシュ ラガワン氏 (OSGeo 財団日本支部推薦)

嘉山 陽一 氏 (OSGeo 財団日本支部推薦)

玉川 英則 氏 (地理情報システム学会推薦)

贈呈式は、2019 年 7 月 17 日 (水) 12:20 より、日本科学未来館 7 階海王星で執り行います。国際地図学会議 2019 会場内で行うため、当会議の参加パスをお持ちでない方は会場に入ることができません。参加を希望される方は、事前に GIS 資格認定協会事務局まで連絡をお願いいたします。なお、今回は、これまでの贈呈式前後に行ってきました記念講演会及び懇親会は開催いたしません。

5 月末時点の認定数は以下の通りです。

GIS 名誉上級技術者数 24 名

GIS 上級技術者数 152 名

教育認定プログラム数 24 件

正味財産増減計算書

2018年 4月 1日から2019年 3月31日まで

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特 定 資 産 運 用 益	1,050	1,050	0
特 定 資 産 受 取 利 息	1,050	1,050	0
受 取 会 費	12,812,000	13,282,000	-470,000
正 会 員 受 取 会 費	9,841,000	10,189,000	-348,000
学 生 会 員 受 取 会 費	431,000	403,000	28,000
賛 助 会 員 受 取 会 費	2,540,000	2,690,000	-150,000
過 年 度 受 取 会 費	71,000	24,000	47,000
大 会 参 加 費	1,508,608	1,399,000	109,608
正 会 会 員 費	474,000	464,000	10,000
学 生 会 員 費	72,000	95,000	-23,000
非 会 員 費	464,000	294,000	170,000
懇 親 会 参 加 費	498,608	546,000	-47,392
刊 行 物 収 益	1,786,463	1,808,952	-22,489
機関誌 (G I S 理 論 と 応 用) 収 益	780,196	828,604	-48,408
大 会 誌 収 益	688,000	607,000	81,000
受 取 刊 行 物 送 料	26,673	60,948	-34,275
掲 載 料 収 益	291,594	312,400	-20,806
資 格 ・ 教 育 認 定 事 業 収 益	510,000	620,000	-110,000
申 請 料 収 益	50,000	530,000	-480,000
認 定 登 錄 料 収 益	90,000	90,000	0
更 新 料 収 入	370,000	0	370,000
支 部 事 業 収 益	0	76,551	-76,551
関 西 支 部	0	76,551	-76,551
受 取 補 助 金 等	30,000	30,000	0
日 本 地 図 セ ン タ 一	30,000	30,000	0
受 取 寄 付 金	400,000	0	400,000
特 定 寄 付 金	400,000	0	400,000
雜 収 益	101,790	75,936	25,854
受 取 利 息	69	59	10
そ の 他 収 益	101,721	75,877	25,844
経常収益計	17,220,911	17,317,489	-96,578
(2) 経常費用			
大 会 開 催 費	1,059,868	1,302,930	-243,062
臨 時 雇 費	240,000	353,500	-113,500
会 場 借 料	0	45,000	-45,000
旅 費 交 通 費	53,120	277,135	-224,015
通 信 運 搬 費	30,816	43,801	-12,985
消 耗 品 費	253,696	150,718	102,978
支 払 手 数 料	3,996	6,696	-2,700
懇 親 会 費	478,240	426,080	52,160
刊 行 物 制 作 費	2,121,120	2,295,600	-174,480
会 報 印 刷 費	464,400	546,480	-82,080
機関誌 (G I S - 理 論 と 応 用) 印刷費	1,497,160	1,579,560	-92,400
大会講演論文集 (大 会 誌) 印刷費	169,560	169,560	0
分 科 会 運 営 費	52,732	201,946	-149,214
自 治 体	0	75,224	-75,224
防 災 G I S	52,732	7,716	45,016

若 手 分 科 会	0	96,732	-96,732
I o T と G I S 分 科 会	0	22,274	-22,274
委 員 会 運 営 費	1,035,865	881,108	154,757
企 画 委 員 会	161,180	4,300	156,880
学 会 賞 委 員 会	10,000	41,680	-31,680
編 集 委 員 会	493,344	211,788	281,556
教 育 委 員 会	99,105	135,217	-36,112
資 格 認 定 協 会 G I S	272,236	488,123	-215,887
日本地図センター研究活動支援費	10,000	13,076	-3,076
旅 費 交 通 費	0	2,860	-2,860
消 耗 品 費	10,000	10,000	0
支 払 手 数 料	0	216	-216
特 定 寄 付 費	45,000	30,000	15,000
支 援 費	120,000	60,000	60,000
若手海外派遣スカラシップ支出	120,000	60,000	60,000
本 部 事 務 局 運 営 費	12,633,503	11,389,822	1,243,681
人 件 費	6,553,286	4,832,700	1,720,586
臨 時 雇 金	1,104,340	1,181,750	-77,410
法 定 福 利 費	726,144	682,106	44,038
旅 費 交 通 費	334,936	385,817	-50,881
通 信 運 搬 費	1,017,152	1,108,247	-91,095
減 價 償 却 費	129,600	129,600	0
消 耗 品 費	360,396	386,491	-26,095
修 繕 費	48,600	48,600	0
賃 借 料	1,676,486	1,682,684	-6,198
租 税 公 課	70,167	70,167	0
支 払 負 担 金	10,000	10,000	0
支 払 手 数 料	22,764	22,860	-96
支 払 報 酬	388,800	388,800	0
そ の 他	190,832	460,000	-269,168
地 方 支 部 運 営 費	423,338	452,544	-29,206
北 海 道 支 部	0	40,000	-40,000
東 北 支 部	6,321	7,060	-739
関 西 支 部	133,702	135,826	-2,124
中 国 支 部	79,269	79,417	-148
四 国 支 部	103,614	90,241	13,373
九 州 支 部	100,432	100,000	432
経常費用計	17,501,426	16,627,026	874,400
評価損益等調整前当期経常増減額	-280,515	690,463	-970,978
損益評価等計	0	0	0
当期経常増減額	-280,515	690,463	-970,978
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-280,515	690,463	-970,978
一般正味財産期首残高	70,547,707	69,857,244	690,463
一般正味財産期末残高	70,267,192	70,547,707	-280,515
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高			
70,267,192	70,547,707	-280,515	

収支予算書(収支)

2019年 4月 1日から2020年 3月31日まで

一般会計 (単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会 費 収 入	13,015,000	13,115,000	-100,000
正 会 員	10,260,000	10,260,000	0
学 生 会 員	315,000	315,000	0
賛 助 会 員	2,440,000	2,540,000	-100,000
大 会 參 加 費 収 入	1,360,000	1,300,000	60,000
正 会 員	450,000	450,000	0
学 生 会 員	100,000	100,000	0
非 会 員	450,000	300,000	150,000
懇 親 会 參 加 費	360,000	450,000	-90,000
刊 行 物 収 入	1,500,000	1,500,000	0
機関誌 (G I S - 理 論 と 応 用) 収 入	800,000	800,000	0
大会講演論文集 (大 会 誌) 収 入	700,000	700,000	0
資 格 ・ 教 育 認 定 事 業 収 入	550,000	550,000	0
申 請 料 収 入	150,000	150,000	0
認 定 登 錄 料 収 入	100,000	100,000	0
更 新 料 収 入	300,000	300,000	0
支 部 事 業 収 入	196,000	96,000	100,000
関 西 支 部	96,000	96,000	0
沖 縄 支 部	100,000	0	100,000
雜 収 入	80,000	80,000	0
そ の 他 収 入	80,000	80,000	0
事業活動収入計	16,701,000	16,641,000	60,000
2. 事業活動支出			
大 会 開 催 費 支 出	1,460,000	1,300,000	160,000
臨 時 雇 貨 金 支 出	300,000	300,000	0
会 場 借 料 支 出	350,000	50,000	300,000
会 議 費 支 出	50,000	50,000	0
旅 費 交 通 費 支 出	150,000	50,000	100,000
通 信 運 搬 費 支 出	50,000	50,000	0
消 耗 品 費 支 出	200,000	350,000	-150,000
懇 親 会 費 支 出	360,000	450,000	-90,000
刊 行 物 制 作 費 支 出	2,430,000	2,530,000	-100,000
会 報 印 刷 費 支 出	530,000	500,000	30,000
機 関 誌 印 刷 費 支 出	1,700,000	1,850,000	-150,000
大会講演論文集 (大 会 誌) 印刷費支出	200,000	180,000	20,000
分 科 会 支 出	466,000	574,000	-108,000
自 治 体	80,000	80,000	0
ビ ジ ネ ス	0	30,000	-30,000
防 災 G I S	50,000	150,000	-100,000
F O S S 4 G 分 科 会	80,000	80,000	0
時 空 間 G I S	100,000	56,000	44,000
若 手 分 科 会	96,000	90,000	6,000
セ キ ュ リ テ ィ 分 科 会	0	28,000	-28,000
I o T と G I S 分 科 会	60,000	60,000	0
委 員 会 費 支 出	1,920,000	2,210,000	-290,000
企 画 委 員 会 支 出	140,000	140,000	0
学 会 賞 委 員 会 支 出	60,000	50,000	10,000
編 集 委 員 会 支 出	350,000	400,000	-50,000

教 育 委 員 会 支 出	300,000	300,000	0
資 格 認 定 協 会 (G I S C A) 支 出	1,070,000	1,320,000	-250,000
特 定 寄 付 支 出	50,000	50,000	0
支 援 費 支 出	90,000	90,000	0
若 手 海 外 派 送 ス カ ラ シ ッ プ 支 出	90,000	90,000	0
本 部 事 業 局 運 営 費 支 出	11,840,000	11,840,000	0
人 件 費 支 出	4,740,000	4,740,000	0
臨 時 雇 貨 金 支 出	1,650,000	1,650,000	0
法 定 福 利 費 支 出	750,000	750,000	0
旅 費 交 通 費 支 出	500,000	500,000	0
通 信 運 搬 費 支 出	1,250,000	1,250,000	0
消 耗 品 費 支 出	600,000	600,000	0
修 繕 費 支 出	50,000	50,000	0
賃 借 料 支 出	1,700,000	1,700,000	0
租 税 公 課 支 出	80,000	80,000	0
負 担 金 支 出	10,000	10,000	0
手 数 料 支 出	100,000	100,000	0
報 酬 支 出	410,000	410,000	0
地 方 支 部 運 営 費 支 出	836,000	716,000	120,000
北 海 道 支 部	70,000	70,000	0
東 北 支 部	50,000	50,000	0
関 西 支 部	216,000	216,000	0
中 国 支 部	80,000	80,000	0
四 国 支 部	100,000	100,000	0
九 州 支 部	100,000	100,000	0
沖 縄 支 部	220,000	100,000	120,000
事業活動支出計	19,092,000	19,310,000	-218,000
事業活動収支差額	-2,391,000	-2,669,000	278,000
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	-2,391,000	-2,669,000	278,000
前期繰越収支差額 ①	53,687,722	52,227,087	1,460,635
次期繰越収支差額 ②	51,296,722	49,558,087	1,738,635

① 2018年度の収支計算書の次期繰越収支差額

② ①+2018年度の実績の当期収支差額

分科会報告

■ ビジネス分科会

[高阪 宏行]

ビジネス分科会では、2019年10月の徳島大学での研究発表大会で企画セッション「役立つビジネス GIS」を開催します。本セッションで発表を希望する会員は、メールにてその旨をお知らせください。

kohsaka@npo-giti.com

ビジネス分科会代表者 高阪宏行

学会後援行事等のお知らせ

■ 空間情報シンポジウム 2019 (共催)

主催：株式会社インフォマティクス

会期と会場：2019年7月10日（水）東京

2019年7月18日（木）大阪

2019年8月7日（水）名古屋

参加費：無料（事前登録制）

詳しくは…

<https://www.informatix.co.jp/sympo19/index.html>

■ 第29回国際地図学会議

(The 29th International Cartographic Conference)

(後援)

主催：第29回国際地図学会議組織委員会

会期：2019年7月15日（月）～20日（土）

会場：日本科学未来館、東京国際交流館プラザ平成

詳しくは… <http://icc2019.org/index.html>

■ GIS Day in 伊勢 2019 (後援)

主催：皇學館大学文学部コミュニケーション学科

会期：2019年8月10日（土）

会場：皇學館大学

詳しくは…

<https://kogakkangis.maps.arcgis.com/home/index.html>

学会からのお知らせ

■ 2019年度地理情報システム学会賞募集（既報）

毎年、秋の研究発表大会で表彰が行われる「地理情報システム学会賞」の応募受付期限が近づいています。今年度より、従来の5部門（研究奨励、学術論文、ソフトウェア・データ、教育、著作）に加え「実践部門」を新設しました。

締切は7月15日（月）です。応募方法は以下のwebページでご確認ください。

<http://www.gisa-japan.org/awards/index.html>

■ 2019年度 初等中等教育における GIS を活用した授業に係る優良事例表彰（既報）

2019年度も表記の表彰事業を実施します。国土交通大臣賞（総合的な観点）、地理情報システム学会賞（GISの効果的な

活用の観点）、日本地図センター賞（地図の効果的な利用の観点）の各部門があります。

募集要項および過去の授賞については、以下のURLでご確認ください。受賞者の許可を得られたものについては、資料を公開しております。

<http://www.gisa-japan.org/awards/post-1.html>

応募期間は2019年7月1日（月）～8月30日（金）17:00必着です。

■ メールニュース受信についてのお願い

BCCまたは配信先が多数のメールを受信できない設定の企業等団体の方で、学会メールニュースをお読みになりたい方は、個人のメールアドレスを事務局までお知らせください。また、アドレスが変更になった場合は、変更届の提出をお願いいたします。

<https://www.gisa-japan.org/member/login.php>

■ メールニュースへの掲載ご希望の方へ

学会では個人会員を対象に、メールニュースを配信しています。

内容は学会からのお知らせ、関連イベント、公募情報が主ですが、こちらに掲載をご希望の方は、以下の「お送りいただく情報」をご参照の上、事務局までお申し込み下さい。また、ホームページ上でもご案内しております。

<http://www.gisa-japan.org/news/request.html?id=02>

なお、ニュースの配信は、毎月第2・第4金曜日を日安にしています。

＜お送りいただく情報＞

イベントの場合

・イベント名・URL・日時（年は西暦/時間は24時間表記）
・会場名・主催

お知らせの場合

・タイトル・URL・内容は200文字程度

公募の場合

公募情報の依頼が出来るのは、贊助会員と教育関係の方だけです。

・タイトル・概要、分野・機関名・所属
・職名・URL（詳細情報）

■ 会議の場所をご提供します

分科会（SIG）、委員会、支部など、学会活動に関することで会議をしたいが場所が無い…という方は、事務局までお申し出ください。事務局が入居している学会センタービルの地下に、貸会議室があります。予約制ですので、お早目にお問い合わせください。

料金：無料

時間：月曜日から金曜日の10:00～17:00

注意：インターネットのご利用は出来ません

2019年5月末現在の個人会員 1022名、 賛助会員 53社

賛助会員

アクリーブ(株), 朝日航洋(株), アジア航測(株), アドソル日進(株), いであ(株), (株)インフォマティクス, ESRI ジャパン(株), NTT タウンページ(株), 愛媛県土地家屋調査士会, 応用技術(株), 大阪土地家屋調査士会, (株)かんこう, 関東中部G 空間情報技術研究会, (財)岐阜県建設研究センター, 九州GIS技術研究会, 近畿北陸G 空間情報技術研究会, (株)こうそく, 国際航業(株), 国土情報開発(株), (株)古今書院, GIS 総合研究所いばらき, ジェイアール西日本コンサルタンツ(株), (株)ジオテクノ関西, (株)昭文社, (株)ゼンリン, (株)ゼンリンジオインテリジェンス, (株)谷澤総合鑑定所, 玉野総合コンサルタント(株), 中四国G 空間情報技術研究会, デジタル北海道研究会, 東北G 空間情報技術研究会, (株)ドーン, 長野県G 空間情報技術協会, にいがたGIS 協議会, 日本情報経済社会推進協会, 日本スーパー・マップ(株), (財)日本測量調査技術協会, (財)日本地図センター, パシフィックコンサルタンツ(株), (株)パスコ, 阪神高速技研(株), 東日本総合計画(株), 北海道G 空間情報技術研究会, (株)マップクエスト, (株)松本コンサルタント, 三菱電機(株), 三菱UFJ リサーチ & コンサルティング(株), (財)リモート・センシング技術センター
自治体会員: 経済産業省特許庁, 総務省統計局統計研修所, (独)統計センター, 長野県環境保全研究所, 福岡県直方市

学会分科会連絡先一覧

- 自治体: 小泉和久 (千葉県浦安市)
事務局: 青木和人 (あおきgis研究所)
Tel: 050-5850-3290
E-mail: kazu013057@gmail.com
- ビジネス: 高阪宏行 (地理情報技術研究所)
Tel: 03-5379-5601
E-mail: kohsaka@npo-giti.com
- 防災GIS: 畑山満則 (京都大学防災研究所)
Tel: 0774-38-4333
E-mail: hatayama@imdr.dpri.kyoto-u.ac.jp
- 時空間GIS: 吉川耕司 (大阪産業大学)
Tel: 072-875-3001
E-mail: yoshikawa@due.osaka-sandai.ac.jp

- 地図・空間表現: 若林芳樹 (首都大学東京)
Tel: 042-677-2601
E-mail: wakaba@tmu.ac.jp
- FOSS4G: Venkatesh Raghavan (大阪市立大学)
連絡先: 嘉山陽一 (朝日航洋(株))
Tel: 049-244-4032
E-mail: youichi-kayama@aeroasahi.co.jp
- 若手分科会: 相尚寿 (東京大学)
Tel: 04-7136-4302
E-mail: hisaai@csis.u-tokyo.ac.jp
- IoTとGIS: 嶩網林 (慶應義塾大学)
Tel: 0466-49-3453
E-mail: yan@sfc.keio.ac.jp

地方支部の連絡先一覧

- <北海道支部>
支部長: 株式会社ドーコン 三好達也
連絡先: NPO 法人 Digital 北海道研究会 (内)
Tel: 011-299-8104, E-mail: gisahokkaido@dghok.com
- <東北支部>
支部長: 東北大学 井上亮
Tel: 022-795-7478, E-mail: rinoue@tohoku.ac.jp
- <中部支部>
支部長: 中部大学 福井弘道
連絡先: 杉田暁 (中部大学)
Tel: 0568-51-9894 (内線 5714)
E-mail: satoru@isc.chubu.ac.jp
- <関西支部>
支部長: 大阪工業大学 吉川眞
連絡先: 田中一成 (大阪工業大学)
Tel: 06-6954-4293, E-mail: gisa@civil.oit.ac.jp

- <中国支部>
支部長: 広島修道大学 川瀬正樹
Tel: 082-830-1210, E-mail: kawase@shudo-u.ac.jp
- <四国支部>
支部長: 愛媛大学 Netra Prakash Bhandary
Tel: 089-927-8566, E-mail: netra@ehime-u.ac.jp
- <九州支部>
支部長: 九州大学 三谷泰浩
Tel: 092-802-3399, E-mail: gisaku@doc.kyushu-u.ac.jp
- <沖縄支部>
支部長: 琉球大学 町田宗博
E-mail: machida@11.u-ryukyu.ac.jp
連絡先: 澤嶺 直彦 (NPO 法人沖縄地理情報システム協議会)
Tel: 098-863-7528, E-mail: takushi@nansei-m.co.jp

編集後記 ■

ニューズレターの編集を初めて担当しました。ニューズレターが届くたびにおおよその内容を確認してはいましたが、セッション報告を除けば、記事を書かせていただいたこともほとんどありませんでした。

これまでにも様々な原稿の作成で、Word を使った図や表のレイアウトを何度も行ってきましたが、Word も良くも悪くも年々進化するのか、独特のクセを攻略するコツがつかめずに今に至ります。今号のニューズレターの編集作業では、そんなこれまでの経験がほんの少しあ生かせたように思います。

今後ともよろしくお願ひいたします。

桐村 喬 (皇學館大学)

地理情報システム学会ニューズレター

第 110 号 ●発行日 2019 年 6 月 25 日

■発行

一般社団法人 地理情報システム学会

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 4 階
TEL/FAX: 03-5689-7955 E-mail: office@gisa-japan.org
URL: <http://www.gisa-japan.org/>

■ 弥生雑記 ■

10歳で初めて飛行機に乗った。当時、ソビエト連邦上空は飛行禁止で、欧州に行くにはアンカレッジ経由の北極圏を回りが一般的だった。親の同行が無く、平均より小柄な女児は、その航空会社の外国人 CA に未就学児と判断されたらしい。彼女は常に私を気にかけ、北極圏経由記念ステッカー(!)、機内常備のあらゆる玩具、余ったお菓子のサービスの他に、コックピットにも連れて行ってくれた。パイロットたちの間に潜り込んで見た、あの光景ときたら……！

そんな遠い記憶を思い出したのは、現役パイロットのエッセイを読んだからだ。そして思いがけず地図の話にも触れたのである。普段目についている地図とパイロットのそれとが異なることは、容易に想像がつく。飛行禁止空域は多く、潮位や気温で大地は伸縮する。パイロットは複数の基準を使い分ける必要があるのだ。しかし GPS の発達で正確なルートが分かるようになり、かえつて意図的に正確なルートを外して飛ぶこともあるという。さて、何故でしょう？
(上下左右前後と時間差を問わず、他機の起こした気流の影響は小さくない) (学会事務局)